

小平市第二次下水道プランの進捗状況報告(令和3年度実績)の概要について

1 計画の概要

(1) 計画の位置づけ

「小平市第二次下水道プラン」は、小平市の下水道における基本方針や施策の方向性について示すもので、今後、下水道事業を展開する上での基本となるものです。

本計画では、国が示す『新下水道ビジョン』や、ビジョンの実現加速のために取りまとめられた『新下水道ビジョン加速戦略』の施策の方向性を踏まえつつ、『小平市第四次長期総合計画』のめざす将来像“つながり、共に創るまち こだいら”を実現すべく、小平市の下水道が抱える課題やその他の各種関連計画に基づき、下水道が目指すべき方向と取組方針等について示すものです。

(2) 計画期間

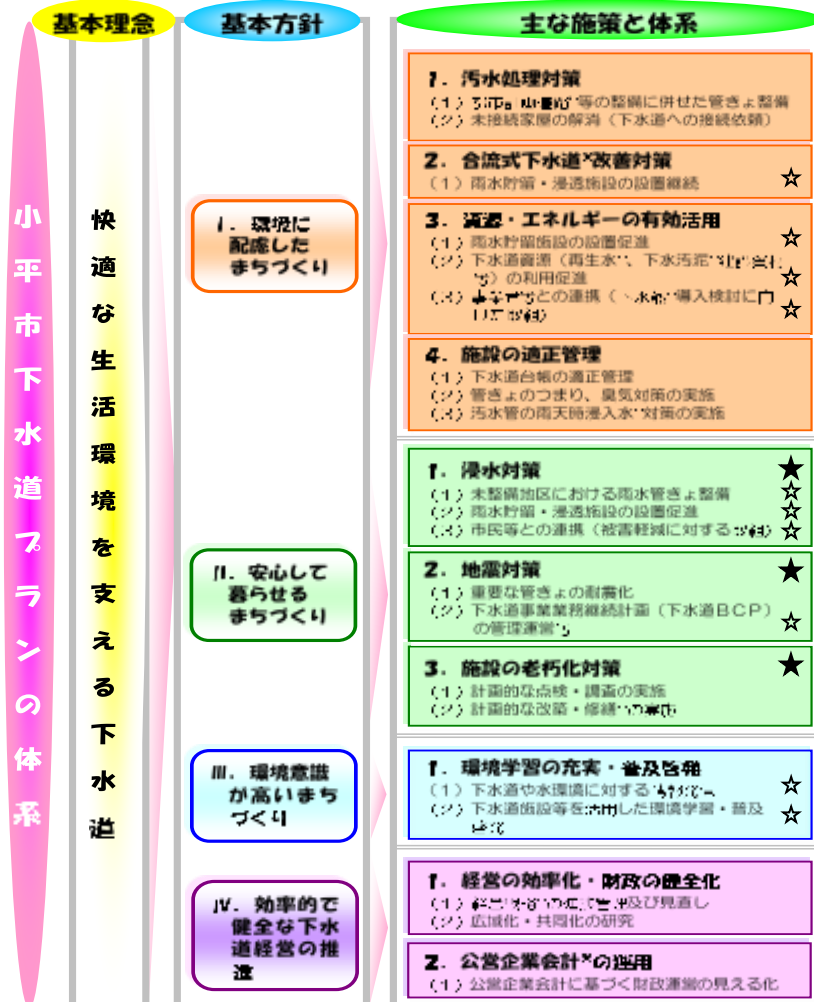
令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間

(前期計画) 令和3(2021)年度から令和7(2025)年度まで

(後期計画) 令和8(2026)年度から令和12(2030)年度まで

(3) 施策の体系

4つの基本方針に対し、10の施策を定め、21の取組みを実施しています。



図中の★については、全施策の中での重点施策、☆については、気候変動適応策に係る取組を示します。

## 2 第二次下水道プランの進捗状況及び成果のまとめ（令和3年度末時点）

### (1) 令和3年度の進捗状況

4つの基本方針に基づく、各施策に対する取組みの目標数値等について、令和3年度の実績値等を整理しました。

#### ① 重点施策（目標数値は前期期間内を設定）

施策Ⅱ-1 浸水対策（重点施策） (1)未整備地区における雨水管きよ整備	
目 標	浸水シミュレーション <sup>※1</sup> により浸水リスクを有する地区への整備
目標数値等	対策地区数：7 地区 〔雨水管きよ整備率 <sup>※2</sup> ：24.2 %〕
令和3年度実績数値等 単年度・累計	対策済地区数：1 地区 ・ <u>1 地区</u> 〔雨水管きよ整備率：0.6 % ・ <u>22.4 %</u> 〕
取組内容	令和3年度は4地区において工事を実施（うち、1地区は対策済み）

※1 浸水シミュレーション：コンピューター上で対象区域の地形や施設等の現状を再現し、その中で様々な降雨条件や下水道の施設整備状況（現況、計画）を考慮した上で、浸水被害の状況（浸水エリア、浸水深等）を予測するもの

※2 雨水管きよ整備率(%)＝雨水管きよ整備済み区域面積／雨水管きよ整備対象区域面積(分流式下水道<sup>※2</sup>654.6ha)×100  
令和2年度末の雨水管きよ整備率：21.8 %

施策Ⅱ-1 浸水対策（重点施策） (2)雨水貯留・浸透施設の設置促進	
目 標	浸水シミュレーションにより浸水リスクを有する地区への整備
目標数値等	対策地区数：3 地区
令和3年度実績数値等 単年度・累計	対策済地区数：0 地区 ・ <u>0 地区</u> 〔処理量 <sup>※1</sup> ：0 m <sup>3</sup> ・ <u>0 m<sup>3</sup></u> 〕
取組内容	工事の実績はなし ※令和3年度は3地区において設計を実施

※1 処理量(m<sup>3</sup>)＝浸透量(m<sup>3</sup>/hr)＋貯留量(V) (浸透量(m<sup>3</sup>/hr)：1時間あたりの地中にしみ込む水の量)

施策Ⅱ-2 地震対策（重点施策） (1)重要な管きよの耐震化	
目 標	重要な管きよの耐震化
目標数値等	中大口径管路の耐震化：0.6 km 〔重要な管きよの耐震化率 <sup>※1</sup> ：98.6 %〕
令和3年度実績数値等 単年度・累計	中大口径管路の耐震化：0.0 km ・ <u>0.0 km</u> 〔重要な管きよの耐震化率：98.1 % <sup>※1</sup> 〕
取組内容	令和3年度は耐震化工事の設計を実施

※1 令和2年度末における耐震化率＝98.1%

重要な管きよの耐震化率(%)＝耐震化済み延長／耐震化対象路線延長(119km)×100  
(重要な管きよの耐震化率は、令和元年度末時点の対象延長119kmを基準に算定した場合)  
令和7年度末 117.3km/119km×100＝98.6%

施策Ⅱ-3 施設の老朽化対策（重点施策） (1)計画的な点検・調査の実施	
目 標	第2・3期区域内の点検・調査の実施
目標数値等	点検・調査延長：81.9 km 〔点検・調査達成率 <sup>※1</sup> ：40.7 %〕
令和3年度実績数値等 単年度・累計	点検・調査延長：17.4 km ・ <u>17.4 km</u> ※仲町処理分区分 〔点検・調査達成率：3.2 % ・ <u>28.6 %</u> <sup>※2</sup> 〕

※1 点検・調査達成率(%)＝点検・調査済み延長／点検・調査対象延長(533km<sup>※3</sup>)×100

令和2年度末：135.2km/533km×100＝25.4 % → 令和7年度末：217.1km/533km×100＝40.7 %

※2 令和3年度末：(135.2km+17.4km)/533km×100＝28.6 %

※3 令和元年度末時点の点検・調査対象延長

**施策Ⅱ-3 施設の老朽化対策（重点施策） (2)計画的な改築・修繕の実施**

目 標	第1期区域内の改築・修繕工事の実施
目標数値等	改築・修繕達成率 <sup>※1</sup> ：80 %
令和3年度実績数値等 単年度・累計	改築・修繕達成率：5.0 % ・ <u>5.0 %</u> 対策延長：1,010.5 m ・ <u>1,010.5 m</u> (内訳) 改築スパン延長：1,010.5m ・ <u>1,010.5m</u> 修繕スパン延長： 0.0m ・ <u>0.0m</u>

- ※1 改築・修繕達成率（%）  
 =改築・修繕工事実施済み路線(スパン<sup>※2</sup>)/対策区域における改築・修繕工事選定路線(スパン(20,139.8m<sup>※3</sup>))×100
- ※2 スパン：マンホール間を1スパンとする。
- ※3 調査・点検の結果による、第1期区域内の改築・修繕工事が必要な延長

② 経営戦略

令和3年度は、3つの経営指標（経費回収率、流動比率、債務償還年数）と留保資金残高の目標をすべて達成していることや、小平市第二次下水道プラン策定時に行ったシミュレーションによる将来推計値よりもすべて望ましい状況となっていることから、良好な経営状況にあります。

令和3年度の当年度純利益（税抜）は、4.8億円となり、令和2年度の4.5億円と比較し、0.3億円の増となりました。これは、下水道使用料や長期前受金戻入などの収入が減となったものの、減価償却費や老朽化対策修繕などの費用が大幅に減となったことから、当年度純利益が増となったものです。

今後は、人口減少による下水道使用料の減や、施設の老朽化による更新投資の増により、指標が悪化していくことが見込まれます。そのため、3つの経営指標と留保資金残高を主な判断材料とし、下水道使用料の改定や企業債発行の抑制、基金の活用方法を検討していく必要があります。

(2) 進捗状況報告のまとめ

令和3年度は、4つの基本方針に基づく、各施策に対する取組みについて、順調に実績値等が示されました。

重点施策では、浸水対策である『未整備地区における雨水管きょ整備』について、1地区が対策済みとなり、地震対策や老朽化対策についても、調査・設計や工事など目標を達成するための取組みを実施しました。

今後の下水道事業は、限られた財源で最大限に事業効果を発揮できるよう取り組んでいく必要があります、着実かつ効率的に施策の各取組みを実施し、下水道事業を推進していきます。